

「誇れる伊賀市」「選ばれる伊賀市」の実現に向けて

I G A B I T O 育成プロジェクト

I G A B I T O 育成プロジェクト

市では伊賀市で生まれ育った若者の「住みたい」「帰ってきたい」という思いを育み、進学や就職を機に転出した若者のUターンと市への定住の促進をめざして、I G A B I T O 育成プロジェクトに取り組んでいます。

このプロジェクトは自らが地域の担い手となり、より良い「伊賀」を創る意識、実行力を持った若者を「I G A B I T O」と定義して、I G A B I T Oに必要な「意欲」「知識」「実行力」を育むため、伊賀市若者会議の取り組みや、市内の県立高校3校との連携プロジェクトを行っています。

伊賀市若者会議

伊賀市若者会議は、I G A B I T Oを発掘し育てることを目的に、市内在住・在勤者や出身者など伊賀市にゆかりのある若者を対象として平成30年度に発足したグループです。任期は2年間で、今年度からは第3期として10代～30代の36人が活動

しています。7月2日(土)には第3期キックオフミーティングが開催され、本格的に第3期若者会議の活動がスタートしました。

キックオフミーティングでは、メンバーで今期の若者会議のスローガンについて話し合い「それぞれの色を組み、人と人とを結び伊賀市若者会議」に決定しました。

また、伊賀市若者会議では、魅力ある伊賀市づくりをめざしてさまざまな個別プロジェクトを立ち上げていて、SNSを通じて市内事業者を応援したり、子育て世代に向けた情報発信や農業体験を通じた農業の魅力発信などの活動をしています。



①伊賀白鳳高等学校
②上野高等学校
③あけぼの学園高等学校
④伊賀市若者会議キックオフの様子
⑤伊賀市若者会議個別プロジェクト

高校との連携

◆地域と連携したキャリア教育 (あけぼの学園高等学校)

あけぼの学園高等学校では、これまで市と協力しながら、各学年や総合学科の系列の授業などで、「地域と連携したキャリア教育」に取り組んできました。

1年次生では、「産業社会と人間」の授業における「地域の職業人の講演」や、秋に実施する地域の企業・事業所をめぐるフィールドワークにより「地域を知る」ことから始まります。

2年次生では、地域の企業・事業所の協力をいただき、インターンシップを通して、自分自身のキャリアについて考えていきます。

3年次生では、課題研究で「地域課題」などについての解決策を提案する活動を行う予定です。

また、系列の授業では、伊賀の地元食材を活用したレシピの考案なども予定しています。これらの活動を通して、自らが地域の担い手となる意識を醸成していきます。



◆専門学科の特色を生かした 地域とのつながり (伊賀白鳳高等学校)

伊賀白鳳高等学校は、「地域の学校として、地域の子どもたちを、地域で活躍できる人材に育成する」とことをめざしています。

生徒が地域のことを学び、考え、活動する取り組みとして、工業学科では、ものづくりで地域の課題を解決するための企画提案や、製品の作製や修繕を行います。

農業学科では、地域の環境保全活動を行うとともに、これからの農業の生産管理の重要性を発信します。また、地域の食材を生かしたお菓子の開発やふるまい、地域のレンタルキッチンスペースなどを利用したカフェの運営などを通して、製菓の魅力発信や地域へのサービスの提供を行います。

福祉学科では、非常時に備えて救急法を習得します。また、地域の園児や高齢者などとの花の寄せ植え教室などを通じて交流を行います。



◆上高みらい探究 (上野高等学校)

1年生では、教育実習生インタビューなど、探究的な学びの基礎となる経験を積みながら、Chromebook(学習端末)を活用して下調べや事前学習を行い、主に伊賀地域に関するテーマを設定します。その後、フィールドワークなどで現地の取材を行い、ポスターセッションにつなげます。

2年生では、1年次に広げた地域に関する知見をさらに深掘りし、地域課題や先行事例を調べたうえで、伊賀市など関係機関と連携した「地域プロジェクト」などの探究活動に取り組めます。

3年生では、社会人として必要な知識や情報を学び、自己実現に向けての具体的方法を検討し、未来への決意表明をする探究的活動に取り組めます。



伊賀市若者会議と高校生が コラボしました

昨年度、地域で活躍する高校生を応援するため、伊賀市若者会議の個別プロジェクト「#いがまるエール」が高校生の活動を取材しました。

Instagramで紹介していますので、ぜひご覧ください。



【問い合わせ】

地域創生課
22・9623 FAX 22・9672
chisou@city.iga.lg.jp

